



オムスワはOkayama Medical Social Worker Association の頭文字の略語です。

岡山県医療ソーシャルワーカー協会事務局：玉島病院内 倉敷市玉島乙島4030 <http://www.omswa.org/>

寒さが厳しい季節ですが、
感染対策をしっかりと、風邪をひかないように気を付けましょう！！



研修会のお知らせ

【第5回 基礎コース研修】

日時：2020年2月29日（土） 9時45分～16時（受付9：15～）

場所：玉島市民交流センター（倉敷市玉島阿賀崎1-10-1）

内容：①自己覚知について

講師：岡山県立大学 保健福祉学部保健福祉学科 教授 竹本与志人氏

②1年のまとめ（各年に分かれて）

対象：2019年度基礎コース研修受講者（1～3年目）

【第2回 専門コース研修】

日時：2020年2月22日（土） 13時30分～16時30分（受付13：00～）

会場：岡山旭東病院 1F 「パッチアダムスホール」（岡山市中区倉田567-1）

テーマ：「MSWの専門性と組織・地域との協働

～ミクロ、メゾ、マクロ領域のSW実践プロセスを考える」

講師：森之宮病院 医療相談室 藤井由記代 氏（MSW）

対象：専門コース（7年目以上）

藤井さんは森ノ宮病院のMSW部門の管理者で、幅広いソーシャルワークの視点でMSWの役割を組織、地域に発信しながら様々なアクションを実践されています。講義の後に、参加者の皆さんとグループワークによる情報交換や、テーマに対する学びの共有を予定しています。データ活用や組織・地域と協働したソーシャルアクションの内容など実践的なお話を聴講できる貴重な機会ですので、是非ご参加ください。

申し込み：下記へFAXでお申し込みください。

岡山旭東病院 MSW片岡 まで FAX：086-276-6850

（所属・氏名・経験年数をご記載ください） ★締切：2/14まで

【第2回 指導者コース研修】

「スーパーバイザー研修～日頃のスーパービジョンを振り返り、次へつなげる～」をテーマに昨年度に引き続き今年度も開催いたします。

各医療機関のスーパービジョンの場において、スーパーバイザー自身が指導した内容に自信が持てず、アドバイスを受けられない状態に苦慮していませんか。お互いのスーパービジョン、指導に対してのアドバイスや意見交換をおこない、指導方法の気づき、共有を図り、自信をつける場になればと考えます。是非ご参加ください。

日時：2020年2月29日（土）14：00～16：30（受付13：30～）

場所：倉敷在宅総合ケアセンター 4F 多目的ホール（倉敷市老松町4-4-7）

内容：①スーパービジョンの場面のロールプレイ

②ロールプレイのまとめ

③ピアスーパービジョンによる気づきや意見交換

対象：A会員4年目以上

参加費：無料

申込み：2月22日（土）までに、下記へFAXにてお申込みください。
さとう記念病院 MSW 大田 まで FAX0868-38-6006

【全体研修】

2019年度公開講座

「ヤングケアラーを知っていますかー介護を担う子どもたちへの支援を考える」

核家族化が進み、家族の力が弱まる現代の日本では、未成年の子どもが大人の担うような責任を引き受け家族の世話をする状況が少なからず生じています。未成年の子どもは、家庭と学校以外のことをほとんど知らない状態で介護(ケア)に巻き込まれ、自分のしなければならないことと介護(ケア)の間で葛藤していくことになり、子どもが成長していく上での課題も危惧されています。

私たち病院で勤務する医療ソーシャルワーカーは、患者の家族としてケアを担う子どもに出会う機会があります。今年度の公開講座では、この現状を変えていくきっかけとして、介護(ケア)を担う子どもの現状とその支援を学び考える公開講座を、「ヤングケアラー」の支援体制構築に向けて調査・研究されている濱島淑恵氏と元当事者を講師に迎え、開催することにいたしました。みなさまぜひご参加ください。

日時：2020年3月14日(土) 14:00～16:00 (受付 13:30～)

場所：きらめきプラザ大会議室(301会議室) (岡山市北区南方2-13-1)

講師：大阪歯科大学 医療保健学部 准教授 ^{はしまよしえ} 濱島淑恵 氏

ヤングケアラー元当事者 柴田咲帆 氏

申し込み：同封チラシをご参照ください。

☆上記の研修に参加される方で施設長宛に公文書が必要な方はかとう内科並木通り診療所の横山までご連絡ください。

TEL 086-264-8855 (代表) メール namiki03@kato-namiki.or.jp



事務局からのお知らせ

【2019年度第6回理事会報告(1月17日開催)】

日時：1月17日(金) 18:30～20:45

議事：1. 各部事業報告・計画

研修部…研修報告、研修計画について

広報出版部…2019年度年報について、自己紹介カードについて

財務部…財務報告等

2. 2020年総会について

3. 岡山プライマリケア学会について

4. 協会設立70周年事業について

5. 月刊オムスワ等メール配信について

6. その他



【岡山県医療ソーシャルワーカー協会会長表彰候補者の推薦について】

会長表彰候補者の推薦を募集します。今月号オムスワに同封している留意事項等をご参照のうえ、推薦用紙を2月29日必着で事務局までお送りください。

【2019年度災害支援活動：募金活動協力のおねがい】

昨年度の西日本豪雨災害の記憶も冷めやらぬ中、今年度も度重なる自然災害に目を覆いたくなる日々となりました。当協会として何かできないかと理事会でも話題となり、理事会や研修会などでの募金活動を始めています。ご協力いただける方は下記の理事まで現金にてお届けください。協会主催の研修会でも受け付けます。募金活動期間は3/14公開講座までとします。集ったお金は日本赤十字社の義援金口座へ振り込ませていただく予定です。

水島協同病院	森田 千賀子	玉島病院	有本 明美
かとう内科並木通り診療所	横山 幸生	倉敷中央病院	長瀬 紀子
水島中央病院	若林 里佳	みわ記念病院	原田 久美子
川崎医科大学附属病院	武内 宏憲	岡山ひだまりの里病院	山川 ちづる
さとう記念病院	大田 真一	南岡山医療センター	有友 公
玉島協同病院	八谷 直博	まび記念病院	神崎 晴子
岡山済生会総合病院	大久保 亜紀	岡山旭東病院	片岡 志麻
川崎医科大学総合医療センター	鈴木 智恵	佐藤病院	田中 香緒里

【他団体からのお知らせ】

- ・特定非営利活動法人 岡山高齢者・障害者支援ネットワーク 設立 15 周年記念講演会
日時：2020年2月8日（土）13：30～16：30
場所：ピュアリティまきび
内容：講演「法人後見の実際と将来的な展望について」 新潟大学法学部教授 上山 泰 氏
鼎談「転帰を迎えた後見制度の中での法人後見の役割」
申込み：2月3日締切
特定非営利活動法人 岡山高齢者・障害者支援ネットワーク TEL086-222-0019
- ・令和元年度一般医療機関 アルコール専門研修
日時：2020年2月12日（水）19：00～20：45
場所：ピュアリティまきび
内容：講演「アルコールと救急医療」
講師 三重県立総合医療センター 救命救急センター副センター長 伊藤秀樹 氏
対象者：医療・保健・福祉関係者等 参加費：無料
申込み：2月7日締切
岡山市こころの健康センター FAX086-803-1772（所属、氏名、住所、連絡先）
- ・認知症疾患医療センター市民公開講座 明日から取り組む認知症へのそなえ
日時：2020年3月14日（土）14：00～16：00
場所：三木記念ホール
内容：講演1「生活を支える制度について～介護保険を知っていますか～」
講演2「認知症の心理検査について」
講演3「認知症の予防について」
参加費：無料 申込み：不要



【会員の異動】

ホームページ上では掲載しません

【会員名簿について】

会員名簿を同封しています。
間違いや訂正が必要な箇所がありましたら、事務局までご連絡ください。

【計報】

ホームページ上では掲載しません

☆今月の担当は、森川（西大寺病院）、和田（岡山ろうさい病院）、櫻井（心臓病センター榊原病院）でした。
3月の担当は、木口（金光病院）、森川（つばさクリニック）、溝手（済生会吉備病院）です。
尚、原稿を依頼される場合は、木口（金光病院）のメールアドレスまでお送り下さい。

締め切り 2月20日（金）必着 liaison@konkohp.jp

栄養サポートチーム (NST) について

栄養サポートチーム(Nutrition Support Team)とは、職種のを越え、栄養サポートを実施する多職種の集団(チーム)である。栄養サポートとは、基本的医療のひとつである栄養管理を、症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施することである。

○構成メンバー

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士のいずれか1人の専従が必須

※医療ソーシャルワーカーが参加している病院もある。その場合の役割としては以下が考えられる。

- ① 治療方針や療養上の悩みについて、第三者的な立場から、「意思決定を支える」「セカンドオピニオンを提案する」など、カウンセリング的に対応をします。例えば、「NST チームから、胃ろう(経管栄養のひとつ。直接胃に栄養を入れる方法)を勧められたが、どうしてもその気持ちになれない」といった食事形態等をどうするかについてなどの相談を受けることもあります。
- ② ご家族の立場からのご相談、活用できる制度の紹介、在宅療養生活の支援なども行います。

○栄養サポートチーム加算：200点(週1回)

- ① 栄養サポートチーム加算は、栄養障害の状態にある患者や栄養管理をしなければ栄養障害の状態になることが見込まれる患者に対し、患者の生活の質の向上、原疾患の治癒促進及び感染症等の合併症予防等を目的として、栄養管理に係る専門的知識を有した多職種からなるチームが診療することを評価したもの。
- ② 算定可能な患者条件(下記のいずれかに該当)
 - ・栄養管理計画の策定に係る栄養スクリーニングの結果、血中アルブミン値が 3.0g/dl 以下であって、栄養障害を有すると判定された患者
 - ・経口摂取又は経腸栄養への移行を目的として、現に静脈栄養法を実施している患者。
 - ・経口摂取への移行を目的として、現に経腸栄養法を実施している患者
 - ・栄養サポートチームが、栄養治療により改善が見込めると判断した患者
- ③ 1日当たりの算定患者数は、1チームにつき概ね30人以内とする。
- ④ 療養病棟においては栄養サポートチーム加算は入院日から起算して180日以内に限り算定可能。
- ⑤ 栄養サポートチームは診療を通じ栄養状態を改善させ、また、必要に応じて経口摂取への円滑な移行を促進することが必要である。

栄養サポートチームの活動内容は施設により異なり定められたものはないが、栄養スクリーニングを行い、栄養療法を適切に行うことが求められています。多職種で行われるので定期的なカンファレンスや回診が必要になります。

